

# 東京オリンピック・パラリンピック推進事業

## －No.7 所沢市－

### 【事業の目的】

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、東京のみならず全国の自治体に大きな影響（レガシー）をもたらします。

東京大会の盛り上がりをもとに所沢市の活性化につなげながら、ポジティブなレガシーを未来に引き継いでいきます。

### 【事業の内容】

東京大会に向けて、庁内の若手職員を中心としたプロジェクトチームを組織し、既存の仕組みや考え方にとらわれず、様々な取組を全庁的に進めています。

#### <プロジェクトチームの活動目標>

『障害者と健常者の区別なく、スポーツを楽しむまちづくり』

東京大会をきっかけとして、様々なスポーツや他国の文化に触れながら、健常者と障害者の区別なくスポーツを楽しめるまちづくりを進めることにより、障害者への理解を深め、社会的障壁のない共生社会の実現を目指すとともに、誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

#### <活動内容>

- 啓発事業の企画・運営
- スポーツ体験会の開催
- 情報発信
- ゆかりの選手の応援
- キャンプ地等の誘致
- ほか

### 【事業年度】

平成 26 年度～平成 32 年度

### 【予算額(千円)】

366千円（平成 29 年度）

### 【財源】

一般財源（市）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

東京大会がもたらすレガシーは多岐にわたることから、各自治体においても、様々なアプローチから取組が進められているところです。

所沢市も、多方面にわたる取組を展開しているところですが、他の自治体と比較して、大きな盛り上がりを見せるスポーツが「障害者スポーツ」です。

市内に国立障害者リハビリテーションセンターを有することから、市民が、ごく自然に、日頃から障害者スポーツに親しむ環境が整っています。

市民と障害者アスリートとの密接な関わり合いが所沢市の障害者スポーツへの取組の原点です。

## 【事業のPRポイント】

障害者スポーツの普及・啓発に向けた取組として、未来を担う子供たちへ、障害者スポーツに触れる場を提供することを目的に、市内の小学校で、パラリンピック種目「ゴールボール」の体験会を開催しています。

講師には、ロンドンパラリンピック金メダリストで、リオパラリンピックでもエースとして活躍した、市内在住の安達阿記子選手をお迎えしています。



【アイシェード体験】



【パス体験】



【安達選手と児童】

## 【事業実績・成果・今後の展開】

所沢市民体育館が、スポーツ庁によるナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設（ゴールボール）の指定を受けました。これまでのゴールボール体験会などの取組が評価され、指定につながったものと考えています。

指定により日本代表チームの合宿や練習会などが開催される予定です。

今後も所沢市にポジティブなレガシーを残していくため、東京大会を契機とした様々な活動を展開していきます。



【所沢市民体育館】

〔 連絡先 〕

企画総務課

04（2998）9046（直通）